

第9回 博報教育フォーラム

「共」

博報財団は、1970年より小中学生の教育に貢献されている方々に「博報賞」をお贈りし、教育実践を支援する活動を続けております。当フォーラムは、教育に関する旬のテーマを取り上げ、参加者全員が自らの問題として一緒に考え、各々の実践に生かすことを目的として毎年開催しています。今回もまた、学校関係者、地域の方々、保護者など教育現場に関わるの方々、及び教育に関心をお持ちの方々と一緒に考えたいと思います。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【今回のテーマについて】

東日本大震災は、私たち日本人に多くの課題を投げかけました。人間が自然を破壊してまでも作り上げてきた技術や物の脆さを目につきつけられ、私たちは長年しみついた「物・金中心、効率重視、自己中心」のあり方を自分ごととして見直す機会を与えられました。悲惨な状況の中で被災地の人々の心を救った「人とのふれあい」「ボランティアの存在」、また海外メディアで報じられた日本人の精神性などをヒントに、これからの時代を生きていく子どもたちに伝えていく新しい価値観として、「共」というあり方を考えてみたいと思います。

みなさんはどのような「共」が大切だとお考えになりますか。

日時	2012年2月25日(土)	13:00~17:00(受付12:30より)
場所	日本工業倶楽部 東京都千代田区丸の内1-4-6	TEL 03-3281-1711
主催	公益財団法人 博報児童教育振興会	
後援	文部科学省	
参加費	無料	
定員	150名(定員になり次第締め切らせていただきます)	

プログラム

◆基調講演

昭和女子大学大学院 押谷由夫教授

◆事例発表

- ①宮城県 仙台市不登校支援ネットワーク
「セクターを越えた不登校支援と協働の枠組み
ー地域社会と共に歩む教育へのチャレンジャー」
- ②新潟県 弥彦小学校・弥彦中学校・彌彦神社氏子青年会
「青年会と小中学校が共に守り伝える村の心と文化」
- ③長野県 NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
「支えあいの暮らしから学ぶ、共に生きる力」

◆発表者ポスターセッション

◆パネルディスカッション

コーディネイター 文教大学・大学院 嶋野道弘教授
パネリスト 昭和女子大学大学院 押谷由夫教授
発表者代表3名

子どもたちと、未来のあいだに

お申し込み

当財団ホームページ「お問い合わせページ」の「フォーラム参加お申し込みフォーム」または、下記申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX、郵送にてお申し込み下さい。
「第9回博報教育フォーラム」の詳細は、当財団ホームページでもご案内しております。

- * お申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。
- * お申し込みいただいた方には、2月上旬に「参加証はがき」をお送り致します。
2月10日までにお手元に届かない場合は、ご連絡下さい。
- * 当日「参加証はがき」をお持ちでない方のご参加はお断りすることもありますので、ご了承下さい。

会場のご案内

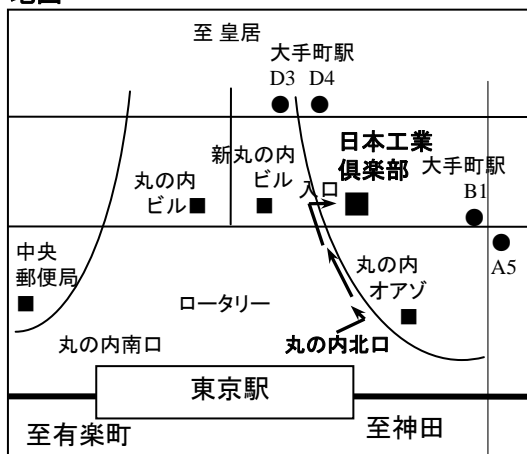
日本工業倶楽部

東京都千代田区丸の内1-4-6 TEL:03-3281-1711

交通手段

- JR線 東京駅下車（丸の内北口出口より徒歩2分）
- 地下鉄丸の内線 //
- 地下鉄三田線 大手町駅下車（D3・D4出口より徒歩3分）
- 地下鉄千代田線 //
- 地下鉄東西線 大手町駅下車（B1出口より徒歩3分）
- 地下鉄半蔵門線 大手町駅下車（A5出口より徒歩5分）

地図



公益財団法人 博報児童教育振興会
博報教育フォーラム事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階
TEL:03-5570-5008 FAX:03-5570-5016
ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foudation/>

きりと

ふりがな 氏名	勤務先 役職名
連絡先 〒 -	勤務先・自宅 (○をつけてください) 都道 府県
TEL	FAX
Eメールアドレス (今後、当財団からの各種お知らせをお送り致します。ご希望の方はアドレスをご記入下さい。)	

T

* ご記入いただきました個人情報は、当フォーラムへのご参加の確認及び今後のフォーラムなど、当財団の活動に関するご案内以外の目的には使用致しません。